

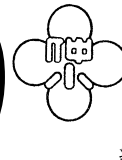
平成28年度

NO. 12

1月31日発行

2月号

仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい

練馬区立仲町小学校

おもてなし

校長 矢島 直行

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といいますが、早いもので平成29年がスタートしてから1か月が過ぎようとしています。

1月後半になり、一段と寒さが厳しくなりました。そのような中、朝、門に立っていますと、笑顔で元気に挨拶をする子供たちや楽しそうに話しかけてくれる子供たちから温かさを感じています。

先日、本校では筑波大学・大学院客員教授 江上 いずみ 先生をお招きし、「おもてなし」について講演をしていただきました。これはオリンピック・パラリンピック教育の一環です。1年生から3年生、4年生から6年生に分かれて話を聞きましたが、子供たちは体育館で真剣に話を聞くことができました。その姿勢は立派でした。子供たちの1年間の成長を見ることができました。

「おもてなし」とは、表面的ではなく心の底から相手に喜んでもらいたいという気持ちです。そのためには言葉、表情、態度、身だしなみが重要であることについて学びました。一つ一つの話に子供たちだけではなく、教員も学ぶことができました。ここで大切なことは、頭で理解するだけではなく、実践することです。挨拶をすることは大切なことであることは分かっていますが、それを実際に行動することができなければ挨拶をしたことにはなりません。学んだことを実践していくことが「おもてなし」の精神につながります。「おもてなし」の心を育み、仲町小学校のみんなが相手を思いやることのできる学校にしていきたいです。

これから学校では、年度末、新年度に向けての行事が続きます。1年生は幼稚園と保育園の園児と交流会を行います。4月に入学する園児に学校に慣れてもらうため、一緒に遊んだり学校の紹介をしたりします。希望をもって入学する新入生ですが、新しい学校に不安もあるかと思えます。是非、1年生のみなさんには、「おもてなし」の心をもってお兄さん、お姉さんとして園児を優しく迎え接することができるようにしたいです。また、6年生を送る会があります。今までお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えるとともに、6年生は今まで支えてくれた下級生に仲町小学校の伝統を引き継いでいきます。ここでも相手を思いやる心で、温かい雰囲気のある6年生を送る会にしていきたいです。

さて、校庭にある梅の枝を見ますと、寒い中ですが枝には大きなつぼみがついており、中から紅の花びらが今にも咲きそうに顔をのぞかせていました。草木は春を迎える準備を整えています。暦の上でも4日には立春を迎えます。子供たち一人一人が学年のまとめをしっかり行うなど、子供たちも春に向けての準備をしています。

4月の進学、進級に向けて頑張る子供たちを教職員が一丸となって励ましながら教育活動に努めてまいります。